

## 2009年9月 ITU-R WP1C 会合報告書

- 【会合名称】 ITU-R WP1C 会合  
(電波監視に関する作業部会)
- 【会期】 2009年9月16日～9月22日
- 【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部
- 【概要】

本会合は、今研究期間における第2回会合である。44ヶ国の主管庁と16のセクターメンバーおよび事務局より6名が参加した。合計参加人数は、139名であった。日本からの参加者は、岩元、山田(以上、総務省)、小川(ARIB)、小坂、村上、南(以上、NICT)、繁田(JAXA)、立澤、亀谷(国立天文台)、牧(パナソニック)、嶋田(三菱電機)、鈴木(MRI)の12名である。

アメリカ、ドイツ、フランス、ロシア、韓国などからの寄与文書および他グループからの連絡文書を含め合計45件の文書が入力され、18件の出力文書(1C/TEMP/16～33)が作成された。内訳は、暫定勧告改訂案(PDRR)1件、勧告改訂案(DRR)2件、暫定新勧告案(PDNR)1件、新報告書案(DNR)1件、暫定新報告書案(PDNR)2件、作業文書(WD、議長報告を含む)2件、取り決め事項(ToR)3件、討議文書1件、ITU-BDTへの覚書1件、他グループへの連絡文書(LS)4件である。

会議では、3つのWorking Group (WG)が設置され、各WGに割当てられた事項の審議が行われた。各WGにおいて作成された出力文書は、Plenary Meeting(全体会合)にて審議、承認する手続きがとられた。会議の構成及び各WGにおける検討事項は表 1のとおりである。

表-1 会議の構成と各グループの担当事項

Working Party 1C 議長: Jan Verduijn(オランダ)
Working Group 1C-1 議長: Ralf Trautmann(ドイツ) 検討事項: 電波監視ハンドブックの改訂
Working Group 1C-2 議長: Erik Van Maanen (オランダ) 検討事項: 技術的な課題
Working Group 1C-3 議長: James Higgins(アメリカ) 検討事項: その他の課題

その他、本会合における特記事項を以下に記す。

- ・ 電波監視ハンドブック(改訂版)の出版は2010年末とし、これに向けて改訂会合は2010年2月にスイス ジュネーブで、6月にドイツで開催することとする。
- ・ 宇宙電波監視ワークショップは、2009年10月27日～29日に韓国ソウルで開催することとする。
- ・ 次回のWP1C会合は2010年9月20日-24日にオランダ アムステルダムで開催される(ただし、SG1会合は2010年9月27日-28日にスイス ジュネーブで開催される)。次回の会合においても、引き続き電波監視ハンドブックの改訂は議論の対象に含まれるものと思われる。

## 各事項の審議結果

WORKING GROUP 1C-1 (議長: TRAUTMANN(ドイツ)) – 技術的な課題

WORKING GROUP 1C-2 (議長: JACQUET(フランス)) – 電波監視ハンドブックの改訂

WORKING GROUP 1C-3 (議長: HIGGINS(アメリカ)) – 調査及び規制緩和環境下での電波監視

## Working Group 1C-1 (議長: Trautmann(ドイツ)) —電波監視ハンドブックの改訂

---

### 入力文書

#### 【全般】

1C/37, 1C/49 +Add.1, 1C/67

#### 【1章】

1C-RG-SMH/1/001

#### 【2章】

1C-RG-SMH/2/020, 1C-RG-SMH/2/021, 1C-RG-SMH/2/022,  
1C-RG-SMH/2/023, 1C-RG-SMH/2/024, 1C-RG-SMH/2/025,  
1C-RG-SMH/2/026, 1C-RG-SMH/2/027, 1C-RG-SMH/2/028,  
1C-RG-SMH/2/029, 1C-RG-SMH/2/030, 1C-RG-SMH/2/031

#### 【3章】

1C-RG-SMH/3/001, 1C-RG-SMH/3/002, 1C-RG-SMH/3/003

#### 【4章】

1C-RG-SMH/4/001, 1C-RG-SMH/4/002, 1C-RG-SMH/4/003,  
1C-RG-SMH/4/004, 1C-RG-SMH/4/005, 1C-RG-SMH/4/006,  
1C-RG-SMH/4/007, 1C-RG-SMH/4/008, 1C-RG-SMH/4/009,  
1C-RG-SMH/4/010, 1C-RG-SMH/4/011, 1C-RG-SMH/4/012,  
1C-RG-SMH/4/013, 1C-RG-SMH/4/014, 1C-RG-SMH/4/015,  
1C-RG-SMH/4/016, 1C-RG-SMH/4/017

#### 【5章】

1C-RG-SMH/5/001, 1C-RG-SMH/5/002, 1C-RG-SMH/5/003,  
1C-RG-SMH/5/004, 1C-RG-SMH/5/005, 1C-RG-SMH/5/006,  
1C-RG-SMH/5/007, 1C-RG-SMH/5/008, 1C-RG-SMH/5/009

#### 【6章】

1C-RG-SMH/6/001, 1C-RG-SMH/6/002, 1C-RG-SMH/6/003,  
1C-RG-SMH/6/004, 1C-RG-SMH/6/005, 1C-RG-SMH/6/006,  
1C-RG-SMH/6/007, 1C-RG-SMH/6/008, 1C-RG-SMH/6/009

### 出力文書

1C-RG-SMH/TEMP/001, 1C-RG-SMH/TEMP/002, 1C-RG-SMH/TEMP/003,  
1C-RG-SMH/TEMP/004, 1C-RG-SMH/TEMP/005, 1C-RG-SMH/TEMP/006,  
1C-RG-SMH/TEMP/007, 1C-RG-SMH/TEMP/008, 1C-RG-SMH/TEMP/009,  
1C-RG-SMH/TEMP/010, 1C-RG-SMH/TEMP/011, 1C-RG-SMH/TEMP/012,  
1C-RG-SMH/TEMP/013, 1C-RG-SMH/TEMP/014, 1C-RG-SMH/TEMP/015,  
1C-RG-SMH/TEMP/016, 1C-RG-SMH/TEMP/017, 1C-RG-SMH/TEMP/018

## (1)主要結果

- ・ 以下の章に関する改訂案を作成した。
  - 1章 電波監理システムの主要な機能としての電波監視
  - 2章 組織、物理的構造、人員
  - 3章 監視機器と計測作業の自動化
  - 4章 測定
  - 5章 特定の電波監視システム及び手続き
  - 6章 基礎的事項

## (2)審議概要

### 【1章】

- ・ 韓国国会合(2008年2月)にて、他章の議論において「電波監理(spectrum management)における電波監視(spectrum monitoring)の位置づけから見直しが必要」とのコメントが出たため、コメントの発言者であるUAEがラポータを務めることとなり、本会合から改訂に関する議論が開始された。
- ・ 全体的に他章との整合性の観点から修正が加えられたが、特に1.3.2「電波監理政策支援のための監視」にて、FCCの情報提供により、電波監理と電波監視の業務プロセスやITシステムを含めたインタフェースについて、文章を追加した。全体的に電波監理データベースの標準的な活用方法を中心とした議論が中心となり、各国の事情を基に修正を行った。

### 【2章】

- ・ 昨年のジュネーブ会合にて、第3章の議論において「電波監視機器についての検討内容のうち、ハードウェアに関連する記述の一部は、2章の物理的構造の一部として記述すべき」とのコメントが出たため、コメントの発言者であるイスラエルがラポータを務めることとなり、韓国国会合(2009年2月)から改訂に関する議論が開始された。
- ・ 2.1「監視業務の任務および構造」:韓国国会合の結果を反映したラポータ案の説明がなされ、これを受けて個別にラポータに提示された修正案を取りまとめて報告された。2.1.2「測定作業と基本装置」の中で示されている一般的な測定装置がカバーすべきとしている周波数帯(9KHz~3GHz)については、より高周波数帯まで含めるべきとするメーカー関係者と、このままでよいとする政府機関関係者との間で議論があった。その他、装置の仕様に関する記載は関係者のみで協議することとして、全体的な方針は承認された。
- ・ 2.4「監視局の種類」:韓国国会合の結果を反映したラポータ案が提示され、これを受けて個別にラポータに提示された修正案を取りまとめて報告された。2.4.1「固定監視局」では、監視塔や一般の建物に実装される監視装置の例について、より発展途上国の状況を考慮に入れ、具体的な記載を行うようコメントがあった。2.4.2「移動監視局」では、監視車の例として掲載されている3つのタイプについて、刷新された図と説明文が整合していないなど、再度見直しが必要であるとのコメントがあった。これを受けてより具体的な記載がなされ、2.4.2「移動監視局」では、監視車の3つのタイプの図に合わせ、説明文が更新され承認された。
- ・ 2.6「施設の立地、建物、設備」:韓国国会合の成果文書を提示したが、表2-4「障害物とDFの間の最小距離」に示されている参照情報を更新すること、2.6.1.4節及び2.6.1.5節に追加の事例について寄与文書を募集すること(次回のハンドブック改定会合まで)、図2-6「監視局の建物内部の図面」を更新すること及びその説明文である例Aの文章を修正することなどの指摘があった。その他、英語表現の修正なども指摘されたが、その場の修正作業により概ね承認された。

### 【3章】

- ・ 本改訂の当初から修正が求められた章で、サンタクララ会合(2008年4月)にて、「監視機器の具体的な技術の進歩により、2002年版ハンドブックに記載されている技術は陳腐化しつつあ

る」とのコメントに基づき、コメントの発言者であるアメリカがラポータを務めることとなった。概ね、サンタクララ会合にてほぼ修正案は承認され、ラポータグループも一旦解散したが、第4章の改訂に伴い、これと連携を図るため、本会合で再度ラポータを中心に関連箇所の修正作業が行われた。

- ・ 3.4.6「DF システムの標準仕様」:ラポータの修正案が提示された。前回会合において、4章から3章に移動する(あるいは、移動したほうがよい)と決定された内容を取りまとめ、具体的に3章に落とし込んでみた形を提示した。これに対し、ドイツが新セクション案『RF レベル測定』の中の表 3-4「ディテクター・統計機能と信号種類別帯域幅」および関連の説明文を削除することを提案した。削除の主旨としては、「まだ4章に残留している情報との重複が見られるため、3章では機器に限定した記述のみに留めること」としており、この主張については概ね合意された。ただし、削除しようとしている表中の情報の中で、3章に記載しておくのが相応しい箇所もあるとの指摘もあり、具体的な表の整理の仕方については関係者のみで協議することとなった。また、その他ドイツの修正案とは関係なく、全体を通して表現を改めた方がよい箇所について確認し修正した。
- ・ Annex「GPS によって統制される時間および周波数の標準」:中国からの追加文案で、前回会合において、2002年版のセクション 4.2.4 から新版の3章に移動すべきと決定された『周波数標準』に関する情報を捕捉する内容であり、新たに設けられる3章の該当部分への追加を意図している。採用を提唱しているアルゴリズムであるカルマンフィルターのパラメータについて、いくつか技術的な質問が出たが、概ね問題ないとの意見で合意した。

#### 【4章】

- ・ 昨年のジュネーブ会合にて、3章の議論において「電波監視機器についての検討内容のうち、測定に関連する記述の一部は、4章の測定の一部として記述すべき」とのコメントが出たため、コメントの発言者であるフランスがラポータを務めることとなり、韓国会合(2009年2月)から改訂に関する議論が開始された。
- ・ 4.1「測定に関する現実的な考慮事項」:ラポータの修正案が提示された。若干の表現の修正に関する指摘があった以外は、修正の主旨は前回会合で合意されていたため、概ね問題ないとされた。ただし、4.1.1「測定の基本的な考え方」の中の記述については、特に技術的な運用手順等に関連する箇所に関して「各国の標準的な機器があるため、一概に特定することはできない」「発展途上国がこれから導入しようとしている機器を想定すべき」などの意見が出たため、議論がやや紛糾した。指摘箇所については、引き続き検討することとなった。
- ・ 4.1.3「アンテナ信号処理」:タレス(フランス)が、アンテナ信号処理に関する新セクションの文案を提案した。全体的にタレスが開発している機器を想定し過ぎている傾向があるため、特にビームフォーミング、干渉の除去及び発射源の分離などの仕組みを示した図に関しては、再考の余地があるとの指摘があり、新設された6章「基本的事項」に移動させることとなった。また、表 4-3「約 30 MHz~3 000 MHzにおける入力パラメータの値」については、個別のアンテナに依存するものであるとして削除する案と、参考値として掲載すべきであるとする案の間で揺れていたが、別途関係者で最終的な結論を出すこととなった。
- ・ 4.2「周波数測定」:ラポータの修正案が提示され、4.2.3.1「瞬時周波数測定法」に測定原理に関する記述を追加し、サンプルサイズに関する記述は全面的に削除している。特にコメントはなく承認された。
- ・ 4.3「RF レベル測定」:ドイツから新セクションの設置案が提示された。時間が押していたこともあり、ドイツからの説明のみであった。これを受けて、コメントがある人はドイツの担当者に時間外に個別に連絡することとなった。
- ・ 4.4「電解強度/PFD 測定」:ラポータの修正案が提示されたが、新セクション 4.3「RF レベルの測定」の設置に伴う整合性確保のためのエディトリアルな修正が中心となっている。内容については、4.4.3「測定方法」で「測定」とひとまとめにしている記述のうち、測定というより「推定」に属する部分があるとして、再度整理する必要があるとのコメントがあった。新セクション案の設置が承認され、これに伴い、本節以降は節番号が再付番されることとなった。
- ・ 4.5「帯域幅測定」:ラポータの修正案が提示され、全ての引用文献を更新した上で、

1C-RG-SMH/4/002の内容を反映したものとなっている。4.4.1.3に記載されている「精度による影響」とは何か、といった技術的な表現に関する質問や英語表現に関する修正案などが出されたが、いくつかのやり取りの結果、修正案が承認された。

- ・ 4.7「無線方向探知および位置特定」:「無線方向探知および位置特定」に対する米国から修正案が提示され、前回会合において提出が要請された TDOA(到着時間差)法について解説したものである。「超解像法(および高解像法)」の記述については、多数の修正コメントが出た(特に、超解像法の説明については、不足している箇所や不自然な英語表現が多く、表 4-14「超解像法を用いた DF と高解像法を用いた DF」は、大幅に追記された)。また、最後に議長から 4.7 は現在過度に多くの情報が盛り込まれているとの指摘があり、ポイントを絞って全体的に分量を減らすこととなった。

## 【5章】

- ・ 5.1、5.2 章は本改訂の当初から修正が求められており、サンタクララ会合(2008年4月)にて、それぞれ中国、タレス(フランス)がラポータを務めた。5.1 章は、昨年のジュネーブ会合で概ね修正案は承認。5.2 章は修正案について意見が決裂し、ラポータがブラジルと交代する事態となったが、韓国会合(2009年2月)に修正案が概ね承認された。また、他の章の修正に伴い、5章のその他の節についても見直しが必要とされ、オマーンをラポータとして本会合で関連箇所の修正作業が行われた。
- ・ 5.3「セルラーシステム(BWAを含む)の監視」:現行の電波監視ハンドブックのセクション 5.3 をベースに若干の修正が加えられているほか、修正や議論が必要な箇所にコメントが付されている。本会合内で各所のコメントに対して、主にタレス(フランス)及びローデ・シュワルツ(ドイツ)が一つずつ回答し、修正案を作成、概ね承認された。
- ・ 5.4「マイクロ波中継装置および衛星へのアップリンクの監視」:ラポータの修正案に対して、中国によるGSO衛星への干渉の調査における地上探索段階向けの別のソリューションの追加案を受けてさらに修正を行った。基本的に中国案をほぼ全面的に受け入れていた修正案であり、記載位置などには中国も合意している。各種電波監視装置の仕様値に関する記述では、主にタレス及びローデ・シュワルツが一つずつ回答し、修正案を作成、概ね承認された。
- ・ 5.5「レーダ発射の監視」:新規追加になった箇所であるため、未完成な記述が多く、共同執筆者を募っているところである。今後共同執筆者とともに、次回のハンドブック改訂会合に向けて、段階的に作業を進めてゆくことで合意された。
- ・ 5.6「非電離発射線測定」:ドイツとブラジルが全体的な文章案を作成し、これらを受けてラポータがまとめたが、基本的にドイツ案を採用している。特にコメントもなく、承認された。
- ・ 5.7「ノイズ測定」:韓国会合の成果文書を踏まえたラポータの修正案で、「High beam antenna」などの技術的な用語の意味を確認するとともに、英語表現について修正し、概ね承認された。

## 【6章】

- ・ 第1章～第5章からは分類上除外された項目であるが重要なものは、6章の中に集められた。韓国会合(2009年2月)から検討が始まり、本会合で関連箇所の具体的な修正作業が行われた。現時点では、追加案がほぼ承認されているが、他の章の改訂に合わせ文案は流動的になるものと考えられる。
- ・ 6.1「衛星によるグローバルポジショニング(GPS)」:前回のソウル会合の成果文書を踏まえたラポータの修正案が提示された。ガリレオシステムの技術的説明を追加すること、GPSの具体的な説明を本文か脚注に加えること、表 6-3「GPS と GRPNASS の比較」について現状を踏まえて更新すること(次回のハンドブック改訂会合まで)、誤記を修正することなどのコメントが出た。
- ・ 6.3「EIRPの決定」:前回のソウル会合の成果文書を踏まえたラポータの修正案が提示された。本文中の数式について単位やパラメータの明確化、他の箇所との整合化などに関する修正コメントが出た。また、6.3.3「測定・計算されたデータの比較」、6.3.4「FM 放送における予測・測定された電解強度の比較」は、重要な記述ではあるが、EIRPとは直接は無関係であるため、別の箇所に移すべきであるとのコメントがあり、次回の会合までに対応を検討することとなった。

- ・ 6.4「伝播モデル」: 前回のソウル会合の成果文書を踏まえたラポータの修正案が提示された。6.4.1以降の各種 Effect については、専門家である英国のバークレー博士に記載内容を確認する必要があるとのコメントが出た。その他はエディトリアルな修正案のみであった。
- ・ 6.5「不要発射」: 前回のソウル会合の成果文書を踏まえたラポータの修正案が提示された。参照情報の誤記修正や 6.5.2「定義」への新たな用語の追加などの修正案が出た。
- ・ 6.6「高速フーリエ変換」: ソウル会合での成果文書と EEC 報告文書 63 を基に取りまとめたドイツの改訂案が提示された。6.6.3「FFT」の FFT の手法や 6.6.4「FFT の限界」に関する技術的な説明等で、修正コメントが出た。どれが正解とは言えない技術的な意見が多数出たため、排他的に記述するのではなく、それらを併存させることとした。また、これに付随してアンテナ処理の問題も記述する必要があるとの指摘があったが、これについては 4 章か 6 章の他の場所に記載することで引き続き検討することとなった。

## Working Group 1C-2 (議長: Maanen (オランダ)) — 技術的な課題

---

入力文書	1C/10, 1C/35, 1C/36, 1C/38, 1C/39, 1C/41, 1C/43, 1C/50, 1C/51, 1C/52, 1C/53, 1C/56, 1C/59, 1C/63, 1C/66, 1C/64, 1C/65, 1C/68, 1C/69, 1C/70, 1C/71, 1C/72, 1C/73, 1C/74, 1C/75
出力文書	1C/TEMP17, 1C/TEMP18, 1C/TEMP19, 1C/TEMP20, 1/TEMP21, 1C/TEMP22, 1C/TEMP23, 1C/TEMP24, 1C/TEMP33

### (1) 主要結果

- ・ 「無線ノイズ測定」に関する勧告文書ITU-R SM.1753に対する暫定改訂案を作成した。
- ・ 「HF周波数域における無線ノイズ」に関するWP5Cへの連絡文書を作成した。
- ・ 「電力線通信(PLT)システムからの影響と測定方法」に関するWP7Dへの回答連絡文書を作成した。
- ・ 「ショートレンジデバイス(SRD)の監視」に関する暫定新報告書案を作成した。
- ・ 「高速電力線通信システムのための測定技術」に関する暫定新報告書案を作成した。
- ・ 「研究課題230/1: 新たな測定技術を用いたより効率的かつ簡便なレーダからのスプリアス発射の測定方法」に関するコレスポンディンググループの取り決め事項を作成した。
- ・ 「HF周波数域における人工雑音の測定」に関する新報告書案を作成した。
- ・ 「帯域外のレーダ発射の測定」に関するWP5Bへの連絡文書を作成した。
- ・ 「DVB-Tのカバレッジ測定と計画基準の検証」に関する暫定新勧告案を作成した。

### (2) 審議概要

#### 【無線ノイズ】

- ・ 1C/72(HF 周波数域における人工雑音の測定): HF 帯域において人為的に発生するノイズの計測に関する新レポート案について議論された。また、WP1C では測定技術を主に担当することが確認された。イラン、シリア、米、仏等から用語、対象周波数帯に関する意見があり、タイトル等が修正され 1C/TEMP/23(新報告書案)が承認された。
- ・ 1C/73(無線ノイズ測定): 「勧告 ITU-R SM.1753 に対する暫定改訂案 無線ノイズ測定」は、これまで 3 年間かけて検討されてきたものであり、本会合にて一定の成果を出すべきであるとの認識が確認された。1C/TEMP/17(勧告改訂案)において、一部修正し各国への回覧による承認へと進めることで合意した。
- ・ 1C/38(WP5C からの連絡文書), 1C/39(WP6A からの連絡文書), 1C/51(WP3L からの連絡文書): 「HF 周波数帯での無線ノイズ」に関する測定パラメータ、評価方法等に関するWP1Cからの連絡文書に対する各 WP からの回答であり、内容を確認の上承認された。
- ・ 1C/59(HF 周波数帯域における無線ノイズ): オランダから WP3L の連絡文書に対するコメントがあった。これに対して WP5C からは測定方法の内容についての問合せがあり、その回答として 1C/TEMP/18(WP5C への連絡文書)が作成された。
- ・ 研究課題 ITU-R 230/1(レーダ発射の測定)に関して検討仕様書として 1C/TEMP/22(取り決め事項)を作成し、本課題について来年からコレスポンディンググループにおいて検討することとなった。また、レーダ発射の測定の検討に関して WP5B へ協力を求めるため 1C/TEMP/24(帯域外のレーダ発射の測定: WP5B への連絡文書)を作成した。

#### 【PLT】

- ・ 1C/56(高速電力線通信システムのための測定技術について): PLT 測定手法に関する暫定新報告書案が議論された。



- ・ 1C/65(電力線ブロードバンドのための測定ガイドライン), 1C/68, 1C/69(以上、高速電力線通信システムのための測定技術), 1C/70(電力線ブロードバンドに関する研究・試験), 1C/74(放送関連組織からの寄与文書に対する支持表明), 1C/75(高速電力線通信システムのための測定技術): NABA、CBS、EBU は、暫定新報告書案の Annex1(米国の測定方法)で仮定した外挿係数(40dB/decades)は現在の米国での検討において否定されているとして、削除を要求した。しかし、米国はこれについて既に FCC の現在の規則として定まっており、Annex1 は修正できない旨の発言があった。これに対し日本は米国の主張を支持し、議長もこれに同意した。NABA は、議長レポートに本件について反対している旨を記述するよう要求したが、米国はこれに反対した。さらに、本基準が米国で検討中である旨を議長レポートに記述する案が出され、これについては議論の結果記述することとなった。
- ・ 1C/41, 1C/50(電力線通信システムからの影響と測定方法): WP1C では測定方法に関する議論を行うものであり、保護基準に関する議論は WP1C ではなく WP1A で検討すべきであるとされた。また、EMC については CISPR があり、さらに他のグループ(SG)とも調整が必要との認識が共有された。
- ・ 1C/64(高速電力線通信システムのための測定技術), 1C/71(高速電力線通信システムによる干渉を測定する代替方法としての移動監視局の利用): カナダの測定方法が追加され、ブラジルの測定方法が一部修正された。
- ・ その他、Annex、図表の番号を統一され、1C/TEMP/21(暫定新報告書案)は承認された。
- ・ 1C/41(電力線通信システムからの影響と測定方法; WP7D からの連絡文書)での日本の測定方法(Annex5)については、日本のコメントに基づいて現在検討中であり今後詳細なデータを提供する旨の回答を作成し 1C/TEMP/19(WP7D への連絡文書)が作成された。

#### 【SRD】

- ・ 1C/53(ショートレンジデバイス(SBD)の監視): SRD の監視に関する新報告書案が議論された。イスラエルより、RFID は UHF だけでなく、HF(広帯域)もあることを記述すべきとの意見があった。また、対象を SRD のみに限定せず、ISM 等についても検討することが確認された。さらに、新報告書案(1C/TEMP/20)について、シリアより、タイトルが「監視」となっていることに関連して、WP1A での SRD の影響の研究と、監視を担当する WP1C の関係及び測定手法について記述すべきとの意見があった。また、UWB 測定は困難であり検討対象から除外されているとの説明があった。また、規制変更(緩和)と技術開発により SRD の利用が可能となり、SRD からのノイズを測定することが重要との意見があった。イタリア、オランダ、米国から、本報告書の主旨は、既に SRD が割り当てられている周波数が実際にどれほど使用されているか、当該帯域が混雑しつつあるかなどを把握するための手法を提供することであるとの意見があった。タイトルについて、monitoring(監視)と measurement(測定)の関係の議論があり、最終的にタイトルは「Short range radiocommunications device (SRD)- Spectrum Occupancy Measurement Techniques (SRD 一周波数占有率の計測技術)」とすることで合意された。さらに、ロシア(WP1C では欠席)から、UWB 以外の全周波数を対象としていないのではないかと意見があり、一部修正され 1C/TEMP/20 が承認された。

#### 【DVB-T】

- ・ 1C/10(DVB-T のカバレッジ測定と計画基準の検証): DVB-T カバレッジ測定と計画基準の確認について議論された。暫定新報告案(1C/TEMP/33)については、ロシアが反対し次回に再度議論することを要求した。その結果、今後新報告案の作成に向けて、シリアより内容を確認するのに1~2ヶ月が必要であると主張されたため、1ヶ月後に各国への回覧による承認に進めることで合意した。

#### 【その他】

- ・ 1C/63: 無線周波数スペクトル占有率測定に関する勧告文書 ITU-R SM.182-5 の改訂案が紹介された。
- ・ 1C/66: 6 GHz20 MHz~6 GHz の周波数域における電波監視に関する暫定新報告案が紹介され、他の関連勧告との調整、ハンドブックへの反映等が行われた。

## Working Group 1C-3 (議長: Higgins(アメリカ)) — その他の課題

---

入力文書	1C/37, 1C/40, 1C/44, 1C/46, 1C/48, 1C/54, 1C/55, 1C/57, 1C/58, 1C/60, 1C/61, 1C/62, 1C/67, 1C/76, 1C/77
出力文書	1C/TEMP16, 1C/TEMP/25, 1C/TEMP/26, 1C/TEMP/27, 1C/TEMP/28, 1C/TEMP/30, 1C/TEMP/31, 1C/TEMP/32

### (1) 主要結果

- ・ 「静止軌道(GSO)宇宙局、非静止軌道(non-GSO)宇宙局両方からの発射測定に利用可能な測定施設」に関する暫定新勧告案のための作業文書及び連絡文書を作成した。
- ・ 「調査における電波監視の役割」に関する暫定新報告書案を作成した。
- ・ 「無線通信規則(RR)第15条、付録第10号を利用した、ジオロケーション情報（干渉源位置情報）など、GSOおよび非GSO宇宙局からの発射に関する情報の伝達」に関する暫定新報告書案に向けた作業文書を作成した。
- ・ 「回報CR/159に関するコレスポンディンググループ」の設置に関する討議文書及び取り決め事項を作成した。
- ・ 「WTSA-08決議72」に関するITU-T SG 5及びWP5Cへの回答のための連絡文書案を作成した。
- ・ 「リストⅧに関するコレスポンディンググループの設置」に関する取り決め事項を作成した。
- ・ 「発展途上国向け周波数管理ソフトウェア(SMS4DC)」に関するITU-Dへの覚書を作成した。

### (2) 審議概要

#### 【WTDC-06 決議 9】

- ・ 1C/37(アンケート第II部、分析報告案),1C/67(報告文書の第3ステージの現状):WTDC-06決議9 (REV. DOHA, 2006)に基づく周波数管理のアンケート結果に関するITU-D SG2からの連絡文書と、その第3ステージの現状を報告しているSG1議長からの連絡文書について、内容の紹介があり、特に修正を要するコメントはなく承認された。ただし、寄与文書の本文にも記載されているとおり、現在作業が進められている電波監視ハンドブックの改訂に関連する事項であるため、引き続き内容に留意する必要があるとの認識が共有された。

#### 【WTSA-08 決議 72】

- ・ 1C/40, 1C/44(WTSA-08 決議 72 に関する対応):両文書は、ともに 2008 年世界電気通信標準化総会 (WTSA) の決議 72「人間の電磁場への曝露に関する測定問題」に関連して、SG5 からの連絡文書を受けて検討を呼びかける寄与文書である。議長からの説明を受けて注意喚起がなされた。これに対し、1A/101-E、1B/60-E、1A/114-Eを基に「WTSA-08 決議 72に関する ITU-T SG 5 及び WP5C への回答のための連絡文書案」として 1C/TEMP/28 が作成された。これは、『人間の電磁場への曝露に関する測定問題』に関する、各 WP の取り組みを通じた SG1 としての活動状況を報告するものである。また、ITU 内外の活動として、CEPT による ECC 勧告文書(02)04 の作成、CENELEC による欧州基準 EN 50492 の承認、WP1C による電波監視ハンドブックの改訂作業などがあることを知らせるなどの内容となっている。WP1C は、現在さらに情報提供のための準備をしており、取りまとめが完了し次第、報告することとしている。エディトリアルな修正意見以外は、特にコメントはなく承認された。

## 【宇宙電波監視】

- ・ 1C/46(静止軌道(GSO)宇宙局、非静止軌道(non-GSO)宇宙局両方からの発射測定に利用可能な測定施設)、1C/62(宇宙業務関連監視施設として利用可能な測定施設):1C/46は、ドイツによる自国の宇宙電波監視局の概要を紹介し、他国の関係機関に同様の資料提供を呼びかける寄与文書で、中国が提示した研究課題 232/1に対する参考情報との位置づけであるため、これに関して中国にコメントを求めたが、特に問題ない旨の回答があった。1C/62は、1C/46のドイツの呼びかけに呼応する形で、自国の宇宙監視施設に関する基本情報を提供するものである。ドイツの同施設との相互運用が可能かどうかという質問がなされたが、中国側からフォーマットの共通化が困難であることから、かなりの調整を要する旨の説明があった。これらを受けて、ドイツと中国で次回の会合までに共同の報告文書を作成することで合意されたが、これを評価するためには、同じく宇宙電波監視施設を有するアメリカ、韓国、日本の情報も必要であるとの意見が出された。その後、1C/TEMP16(暫定新勧告案のための作業文書)に両国における宇宙電波監視施設の紹介内容が取りまとめられ、10月の宇宙電波監視会合までを目処に、両施設の共通点などを抽出し、相互運用可能性まで踏み込んだ議論が盛り込まれることとなった。なお、現時点では両国の施設の紹介はそれぞれAnnex1, 2の位置づけとしており、他国の例(アメリカ、韓国、日本に期待)を追加できる形式にしている。エディトリアルな修正意見以外は、特にコメントはなく承認された。
- ・ 1C/55(無線通信規則(RR)第15条、付録第10号を利用した、ジオロケーション情報(干渉源位置情報)など、GSOおよび非GSO宇宙局からの発射に関する情報の伝達)、1C/61(GSO衛星への干渉源のジオロケーション結果報告に対する無線通信規則第15条および付録第10号の適用可能性):1C/55は、ドイツがRR第15条及び付録第10号に基づき、ジオロケーション情報(干渉源位置情報)など、必要な情報を伝達する方法例を提示した寄与文書である。RR第15条に関しては、先の中国が提示した研究課題 232/1でも取り上げられており、本報告の内容と合わせ、ドイツと中国でこれらの情報を取りまとめた報告文書を作成し、議長報告とすることで合意された。1C/61は、中国におけるジオロケーション結果の報告方法を説明する寄与文書である。内容が紹介された後、両寄与文書を基にドイツと中国の報告方法に関する例示及び提案を取りまとめられ、1C/TEMP/26(暫定新報告書案に向けた作業文書)が作成された。結果的にジオロケーション結果をそのまま報告に使用するのは困難とする内容であり、本報告文書を作成するに当たり、ITU-R WP特別委員会に対して、他のWPと連携を図るためにどのような手続きを取るのが適切か助言を求める連絡文書として1C/TEMP/29が作成された。エディトリアルな修正意見以外は、特にコメントはなく承認された。

## 【SMS4DC】

- ・ 1C/57, 1C/58, 1C/76(発展途上国向け周波数管理ソフトウェア(SMS4DC)と電波監視機器との標準インタフェース):ローデ・シュワルツによる寄与文書とこれに対するタレスのコメントであるが、具体的なインタフェースが見えないために判断できないとした上で、SMS4DCをITU公認のソフトとして特定のメーカーの製品を取り上げて研究課題とすることは疑問であるとの意見があった。また、中国もこれがオープンインタフェースでなければ、プロトコルが限定される可能性があるとして危機感を示した。その結果、ローデ・シュワルツ、タレス、中国、米国が中心となって研究課題のドラフティンググループを作ることで合意された。その後、SMS4DCのデモンストレーションが行われ、1C/TEMP/31(ITU-Dへの覚書)が作成された。SMS4DCと電波監視装置との間での情報交換のためのファイルやデータフォーマットについては、WP1CよりもITUとして定義すべきとして、ITU-BDTに対して必要な監視機能のリスト、ファイルフォーマットの送信、データ要素の特定を依頼している。エディトリアルな修正意見以外は、特にコメントはなく承認された。

## 【調査における電波監視の役割】

- ・ 1C/60(調査における電波監視の役割):オランダによる暫定新報告書案で、オランダからの説明の後、ページごとに修正作業を行った。「監視」(monitoring)は「調査」(inspection)を支援(support)するための業務であるとの認識が確認され、この位置づけに基づいて文章全体の記述が見直された。また、英語表現もより自然なものとなるよう細かな修正がなされた。その後、タ

イトルは「調査を支援するための電波監視の役割」と改訂され、調査結果の裏づけとして電波監視を行っている例としてオランダとブラジルの事例を紹介する内容として1C/TEMP/25が作成された。英語を母国語とするメンバーが加わり、全体的に自然な表現に修正し、とくにコメントはなく承認された。

#### 【ITU の出版物】

- ・ 1C/48 (ITUリストⅧの改訂) : リストⅧの使い勝手の改善を目的に、構成に関する議論を呼びかけるドイツからの寄与文書であり問題点と解決策案を示すとともに、いくつかの提案を行なっている。特に反対意見はなかった。BR (ITUの出版部門)からは、改訂内容が承認されれば、すぐに改訂版を出版する用意がある旨の報告があった。ドイツを中心として、来年の会合での改訂版提示を目標に、ドラフティンググループを結成することとなった。その後「リストⅧに関するコレスポন্ディンググループ」の設置に関する取り決め事項として1C/TEMP/32が作成された。2010年のWP1C会合に向けて、「リストに必要な情報」「リストのフォーマットの改善」に関する入力文書を準備すること、決議「ITU-R 1-5」の特に§ 2.16 と§ 2.17で規定された事項と整合を取るなどが盛り込まれた。エディトリアルな修正意見以外は、特にコメントはなく承認された。
- ・ 1C/77 (回報CR/159の見直し) : 無線通信局 (BR) の回報「地上局由来の発射に関連する国際監視情報の収集・公表に関する取り決め」を補うものとして、定期プログラムにおけるデータ収集に関する技術的設定および時間スケジュール案を示した議長からの寄与文書である。前提となっている測定周波数帯、スケジュール、技術的設定等は一般的な条件を想定したもので、実際には各国の宇宙電波監視施設の仕様、宇宙電監視サービスの実態などを踏まえて詰める必要がある。本寄与文書によりたたき台が示されたので、これを受けてBRを含めた小グループを結成し、10月の宇宙電波監視会合までに回報の改定案を提示することとなり、「回報CR/159に関するコレスポন্ディンググループ」の設置に関する討議文書として、1C/TEMP/27、取り決め事項として1C/TEMP/30が作成された。地上局由来の発射に関連する国際監視情報の収集・公表として、自動監視を通じて収集すべき必要な要素を特定すること、利用可能な装置を設定することなどを検討するとしている。特にコメントはなく承認された。

#### 入力文書

文書番号	提出元	表題	
1C/35	Chairman, WP1C	REPORT OF THE MEETING OF WORKING PARTY 1C (Geneva, 18 - 24 June 2008)	WP1C 会合の報告 (2008年6月18日~24日、ジュネーブ)
1C/36	WP 1A	Reply to liaison statement from Working Party 3L (copy to WP 1C for information) - Impact of power line Telecommunications systems on Radiocommunication systems operating in the HF band	WP3L への連絡文書 (返信) (WP1C にも文書を参考送付) HF 帯で運用されている無線通信システムに対する電力線通信システムの影響
1C/37	ITU-D SG 2	Liaison statement - Resolution 9 (REV. DOHA, 2006), draft analysis Report of questionnaire part II	連絡文書 - 決議 9 (REV. DOHA, 2006) アンケート第II部、分析報告案
1C/38	WP 5C	Reply to liaison statement from Working Party 1C - Radio noise in the HF frequency band	WP 1Cからの連絡文書に対する返信 HF周波数帯における無線ノイズ

文書番号	提出元	表題	
1C/39	WP 6A	Liaison statement to Working Party 1C - Radio noise in the HF frequency band	WP 1Cへの連絡文書 HF周波数帯における無線ノイズ
1C/40	Chairman, SG 1	ITU-T Study Group 5 liaison statement to ITU-R Study Group 1 on actions related to WTSA-08 Resolution ITU-T 72	ITU-T SG 5からITU-R SG 1への連絡文書 2008年世界電気通信標準化総会(WTSA-08)決議72に関する対応について
1C/41	WP 7D	Liaison statement to Working Parties 1A and 1C (copy to Working Party 6A for information) - Impact from PLT systems and measurement methods	WP1AおよびWP1Cへの連絡文書 (WP6Aにも文書を参考送付) 電力線通信(PLT)システムからの影響と測定方法
1C/42	Chairman, ITU-R SG 1	Response to questionnaire from ITU-T Focus Group on ICT and climate change	国際電気通信連合電気通信標準化部門(ITU-T)「ICTと気候変動に関するフォーカスグループ」からの質問票への回答
1C/43	WP 1A	Liaison statement (copy to Working Parties 1C and 6A for information) - Impact of power line telecommunication systems on radiocommunication systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz	WP7Dへの連絡文書 (WP1C, WP6Aにも文書を参考送付) 80 MHz未満のLF, MF, HF, VHF帯で運用されている無線通信システムへの電力線通信システムの影響
1C/44	Chairman, WP 1A	Note from the Chairman of Working Party 1A to the Chairman of Working Party 1C - Considerations on actions related to WTSA-08 Resolution 72 in response to ITU-T Study Group 5	WP 1A 議長からWP 1C議長への連絡メモ 「2008年世界電気通信標準化総会(WTSA-08)決議72に関する対応について」に関する検討材料
1C/45	Chairman, CCV	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties For action	無線通信部門のSGおよびWPへの連絡文書 実施のお願い
1C/46	Germany (Federal Republic of)	Working document towards a preliminary draft new Report on measurement facilities available for the measurement of emission from both GSO and non-GSO space stations	新報告文書の事前案に向けた作業文書 静止軌道(GSO)宇宙局、非静止軌道(non-GSO)宇宙局両方からの発射測定に利用可能な測定施設について
1C/47	Chairman ITU-T FG ICTs & CC	Information on activities and output documents of ITU-T Focus Group ICTs & CC	国際電気通信連合電気通信標準化部門(ITU-T)「ICTと気候変動に関するフォーカスグループ」の活動および成果文書に関する情報

文書番号	提出元	表題	
1C/48	Germany (Federal Republic of)	Proposal for a revision of ITU List VIII	ITUリストVIIIの改訂に関する提案
1C/49	Rapporteur, WP 1C Rapporteur Group on SMH issues	Spectrum Monitoring Handbook Edition 2010 - Report of the 1st Meeting of the Rapporteurs' Group on Spectrum Monitoring Handbook issues (Seoul, 25 February-4 March 2009)	電波監視ハンドブック2010年版 電波監視ハンドブックの案件に関するラポータグループ第1回会合の報告 (ソウル、2009年2月25日～3月4日)
1C/50	WP 6A	Liaison statement to ITU-R Working Party 7D (copy to Working parties 1A and 1C for information) - Impact from PLT systems and measurement methods	ITU-R WP7Dへの連絡文書 (WP1A, WP1Cにも文書を参考送付) 電力線通信(PLT)システムの影響と測定方法
1C/51	WP 3L	Liaison statement to Working Party 1C - Radio noise in the HF frequency band	WP1Cへの連絡文書 HF周波数帯域における無線ノイズ
1C/52	WP 3L	Reply to liaison statement from Working Party 1A copy to Working Party 1C for information - Question regarding aggregation of interference caused by sky-wave propagation	WP1Aからの連絡文書に対する返信 WP1Cにも文書を参考送付 空中伝達による干渉の総計に関する質問
1C/53	Netherlands (Kingdom of the)	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[SRD MON] - Short range device (SRD) monitoring (WRC-11 Agenda item 1.22)	暫定新報告書案 ITU-R SM.[SRD MON] ショートレンジデバイス(SRD)の監視 (WRC-11 議題1.22)
1C/54	Director, BR	Summary notes on the BR Workshop on the efficient use of the spectrum/orbit resource	BR主催『スペクトラム／軌道資源の効率的利用に関するワークショップ』に関する要約メモ
1C/55	Germany (Federal Republic of)	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[APP10] - Use of RR Article 15, Appendix 10 to convey information related to emissions from both GSO and non-GSO space stations including geolocation information	暫定新報告書案 ITU-R SM.[APP10] 無線通信規則(RR)第15条、付録第10号を利用した、ジオロケーション情報など、GSOおよび非GSO宇宙局からの発射に関する情報の伝達
1C/56	Corresp. Grp. Rapp., Measurmt. Tech. for Power...	Preliminary draft new Report - On measurement techniques for power line high data rate telecommunication systems	暫定新報告書案 高速電力線通信システムのための測定技術について

文書番号	提出元	表題	
1C/57	RÖHDE & SCHWARZ GmbH & Co. KG	Preliminary draft new Question ITU-R_ _ _ /1 - Standardized Interface between SMS4DC and Radiomonitoring Equipment	暫定新研究課題案ITU-R _ _ _ /1 発展途上国向け周波数管理ソフトウェア(SMS4DC)と電波監視機器との標準インタフェース
1C/58	RÖHDE & SCHWARZ GmbH & Co. KG	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[Doc. _ _ _] - Standardized Interface between SMS4DC and Radiomonitoring Equipment	暫定新勧告案 ITU-R SM.[Doc. _ _ _] 発展途上国向け周波数管理ソフトウェア(SMS4DC)と電波監視機器との標準インタフェース
1C/59	Netherlands (Kingdom of the)	Response to the liaison statement of Working Party 3L to Working Party 1C - Radio noise in the HF frequency band	WP3LからWP1Cへの連絡文書に対する返答 HF周波数帯域における無線ノイズ
1C/60	Netherlands (Kingdom of the)	Preliminary draft new Report - The role of spectrum monitoring in inspections [INSP]	暫定新報告書案 調査における電波監視の役割
1C/61	China (People's Republic of)	On the applicability of the RR Article 15 and Appendix 10 to the reporting of geolocation results for GSO satellites	GSO衛星への干渉源のジオロケーション結果報告に対する 無線通信規則第15条および付録第10号の適用可能性
1C/62	China (People's Republic of)	Working document towards a preliminary draft new Report - On measurement facilities available for space service-related monitoring stations	暫定新報告書案に向けた作業文書 宇宙業務関連監視施設として利用可能な測定施設
1C/63	China (People's Republic of)	Proposed revision of Recommendation ITU-R SM.182-5	勧告文書 ITU-R SM.182-5 の改訂案
1C/64	North American Broadcasters Association (NABA)	Working document towards a preliminary draft new Report - On measurement techniques for power line high data rate telecommunication systems	暫定新報告書案に向けた作業文書 高速電力線通信システムのための測定技術について
1C/65	North American Broadcasters Association (NABA)	New information on measurement guidelines for broadband PLT	電力線ブロードバンドのための測定ガイドラインに関する新情報
1C/66	United States of America	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[6 GHz] - Spectrum monitoring from 20 MHz to 6 GHz	暫定新勧告案 ITU-R SM.[6 GHz] 20 MHz～6 GHzの周波数域における電波監視
1C/67	Chairman, SG 1	Status of the third stage of the Report on WTDC-06 Resolution 9 (Rev.Doha, 2006)	WTDC-06 決議 9 (REV. DOHA, 2006)に関する報告文書の第3ステージの現状

文書番号	提出元	表題	
1C/68	North American Broadcasters Association (NABA)	Working document towards a preliminary draft new Report - On measurement techniques for power line high data rate telecommunication systems	暫定新報告書案に向けた作業文書 高速電力線通信システムのための測定技術について
1C/69	CBS, Inc.	Working document towards a preliminary draft new Report on measurement techniques for power line high data rate telecommunication systems	暫定新報告書案に向けた作業文書 高速電力線通信システムのための測定技術について
1C/70	CBS, Inc.	Broadband over power (BPL/PLT) studies and testing	電力線ブロードバンド (BPL/PLT)に関する研究・試験
1C/71	Brazil (Federative Republic of)	Complementary study to the document "Alternative method on measuring interference from power line high data rate telecommunications systems using mobile monitoring station" (Question ITU-R 218/1)	寄与文書『高速電力線通信システムによる干渉を測定する代替方法としての移動監視局の利用』に関する補足的研究 (研究課題 ITU-R 218/1)
1C/72	Germany (Federal Republic of)	Working paper towards a preliminary draft new Report - HF man-made noise measurements	暫定新報告書案に向けた作業文書 HF 周波数域における人工雑音の測定
1C/73	Germany (Federal Republic of) , Korea (Republic of)	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1753 - Radio noise measurements	暫定勧告文書 ITU-R SM.1753 改訂案 無線ノイズ測定
1C/74	N/A	Support to contributions form Broadcasting Organizations	放送関連組織からの寄与文書に対する支持表明
1C/75	CBS, Inc.	Working document towards a preliminary draft new Report on measurement techniques for power line high data rate telecommunication systems	暫定新報告書案に向けた作業文書 高速電力線通信システムのための測定技術について
1C/76	Thales Communications	Comments on Document 1C/57 - Preliminary draft new Question ITU-R ___/1 - Standardized interface between SMS4DC and radiomonitoring equipment	寄与文書 1C/57 に関するコメント 暫定新研究課題案 ITU-R ___/1 発展途上国向け周波数管理ソフトウェア(SMS4DC)と電波監視機器との標準インタフェース
1C/77	Chairman WP 1C	Review Circular Letter CR/159	回報 CR/159 の見直し
1C/78	BR Study Group Department	LIST OF DOCUMENTS ISSUED (Documents 1C/35 – 1C/78)	寄与文書一覧 (文書番号 1C/35 – 1C/78)

出力文書



文書番号	表題	入力文書	
1C/TEMP/16	Working Document towards a preliminary draft new Report on measurement facilities available for the measurement of emission from both GSO and non-GSO space stations	暫定新報告書案に向けた作業文書 静止軌道(GSO)宇宙局、非静止軌道(non-GSO)宇宙局両方からの発射測定に利用可能な測定施設について	1C/46, 62
1C/TEMP/17	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1753 radio noise measurements	暫定勧告文書 ITU-R SM.1753 改訂案 無線ノイズ測定	1C/73
1C/TEMP/18	Liaison statement to Working Party 5C - Radio noise in the HF frequency band	WP5Cへの連絡文書 HF周波数帯における無線ノイズ	1C/38, 39
1C/TEMP/19	Reply to liaison statement to Working Party 7D - Impact from PLT systems and measurement methods	WP7Dへの連絡文書の返信 電力線通信(PLT)システムからの影響と測定方法	1C/41
1C/TEMP/20	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[SRD MON] - Short-range device (SRD) monitoring	暫定新報告書案 ITU-R SM.[SRD MON] ショートレンジデバイス(SRD)の監視	1C/53
1C/TEMP/21	Preliminary draft new Report - On measurement techniques for power line high data rate telecommunication systems	暫定新報告書案 高速電力線通信システムのための測定技術について	1C/56
1C/TEMP/22	Correspondence Group on Question ITU-R 230/1 (Terms of reference)	取り決め事項 研究課題ITU-R 230/1のための のコレスポンデンスグループ	1C/35
1C/TEMP/23	Draft new Report - HF man-made noise measurements	新報告書案 HF周波数域における人工雑音の測定	1C/72
1C/TEMP/24	Liaison statement to Working Party 5B - Radar emission measurements in the out of band domain	WP5Bへの連絡文書 帯域外のレーダ発射の測定	None
1C/TEMP/25	Preliminary draft new Report - The role of spectrum monitoring in inspections	暫定新報告書案 調査における電波監視の役割	1C/60
1C/TEMP/26	Working document toward a preliminary draft new Report - Use of ITU RR Article 15, Appendix 10 to convey information related to emissions from both GSO and non-GSO space stations including geolocation information	暫定新報告書案に向けた作業文書 無線通信規則(RR)第15条、付録第10号を利用した、ジオロケーション情報(干渉源位置情報)など、GSOおよび非GSO宇宙局からの発射に関する情報の伝達について	1C/46, 62
1C/TEMP/27	Discussion on Circular Letter CR/159	回報CR/159に関する議論	1C/77

文書番号	表題	入力文書	
1C/TEMP/28	Draft reply liaison statement to ITU-T Study Group 5 - Actions related to WTSA-08 Resolution 72	ITU-T SG 5への連絡文書の返信案 2008年世界電気通信標準化総会(WTSA-08)決議72に関する対応について	1C/40, 1A/101, 1B/60, 1A/114
1C/TEMP/29	Draft liaison statement to the Working Party of the Special Committee on regulatory and procedural matters - Use of Article 15 and Appendix 10 of the ITU Radio Regulations to convey information related to emissions from both GSO and non-GSO space stations including geolocation information	規則及び手続きに係る事項に関連するWP及び特別委員会への連絡文書案 無線通信規則(RR)第15条、付録第10号を利用した、ジオロケーション情報(干渉源位置情報)など、GSOおよび非GSO宇宙局からの発射に関する情報の伝達について	1C/46, 62
1C/TEMP/30	Correspondence Group on Circular Letter CR/159 (Terms of Reference)	取り決め事項 回報 CR/159 に関するコレスポネンスグループ	1C/35, 77
1C/TEMP/31	Note to the Director ITU-BDT	ITU-BDT ディレクターへの覚書	1C/57, 58
1C/TEMP/32	Correspondence Group on revision of ITU-R List VIII (Terms of Reference)	取り決め事項 ITU-R リスト VIII の改訂に関するコレスポネンスグループ	1C/48
1C/TEMP/33	DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	DVB-Tのカバレッジ測定と計画基準の検証	1C/10